

新規眼組織老化マーカーの開発に関する研究

1. 研究の対象

AREDS (Age-Related Eye Diseases Study) あるいは UK BioBank の公開データベースに登録されている方

2. 研究目的・方法

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2030 年 3 月 31 日

利用又は提供を開始する予定日：2024 年 7 月

この研究では、眼球がどれくらい歳をとっているかを調べる新しい方法を開発して、将来の眼の病気の発症などを予測するツールを開発します。眼球は簡単に細胞を取ってくることができません。そのため、主に光を使った機械で眼の状態を調べます。機械で得られたデータを人工知能（AI）で解析して、眼球がどれくらい歳をとっているかを調べます。このような眼球の年齢がわかると、将来の眼の病気の発症などの未来を予測できるようになります。

この研究では、大阪大学医学部附属病院で診断および治療を受けており、診断が確定している角膜疾患、白内障、緑内障、網膜疾患等の眼疾患を有する患者さん、あるいはボランティアのかたに眼科に関連する検査を受けていただきます。同時に、公開データベース（AREDS (Age-Related Eye Diseases Study) あるいは UK BioBank）に登録されている方の同様の眼科検査情報も比較情報として使用します。これらの検査結果をもとに大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点（PRIMe）と共同で、人工知能を使って眼球の年齢を予測するツールを開発します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、視力、眼圧、眼底写真、光干渉断層計撮影等、公開データベース（病歴、治療歴、視力、眼圧、眼底写真、光干渉断層計撮影等）

試料：使用しません

4. 外部への試料・情報の提供

解析によって得られた電子データは、記録媒体を通じて大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点（PRIMe）に提供され、人工知能などを使って病気の進行を予測するツールを開発します。外部へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当機関研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織（利用する者の範囲）

大阪大学医学部附属病院 眼科 西田 幸二

大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究拠点（PRIMe） 西田 幸二

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：

大阪大学医学部附属病院 眼科 渡邊 敦士

住所：大阪府吹田市山田丘2-15

連絡先：06-6879-3456

研究責任者：大阪大学医学部附属病院 眼科 西田 幸二

研究代表者：大阪大学医学部附属病院 眼科 西田 幸二